

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	ナオミ愛児園
取組の名称	農林水産消費・安全局消費者行政・食育課の主催 食育月間の実施
実施時期	6月14日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 
取組内容	<p>☆ねらい☆          普段食べている物がどのように自分の体に取り込まれているのか、興味を持つ。</p> <p>☆参加人数☆        3歳児…18名   4歳児…18名   5歳児…18名</p> <p>☆取組内容☆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段食べている身近な食材を中心に『3色食品群』に分けました。</li> <li>・赤、黄、緑、それぞれがどのように働き、自分の体を作っていくのか、絵を使い分かりやすく伝えました。(バランスよく食べるのは何故か)</li> <li>・各クラスの数名の子どもに馴染みある食材がどの色に入るのか、前に出て考えてもいました。</li> <li>・3色食品群が、どのくらいの量を食べたらいいいのか、手を使い紹介しました。 (塩山式手ばかり参考)</li> </ul> <p>☆振り返り☆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのクラスに3色食品群の掲示はされていますが、みんなで一斉に考えて取組むことで、改めて興味を持ち、知ることができたと思いました。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>

提出都道府県名	福岡県
政令指定都市名	北九州市
取組市町村名	北九州市戸畑区
取組団体・企業名	社会福祉法人北九州市福祉事業団 沢見あやめのもり保育所
取組の名称	梅しごと
実施時期	令和6年6月
取組内容に該当する食育ピクトグラム (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
取組内容	<p>【目的】梅の実から梅干しができることを知る。梅干し作り体験を通して、その変化の不思議さに気付く。</p> <p>【対象】5歳児20名</p> <p>【取組内容】</p> <p>5歳児が、給食の職員と一緒に「梅しごと」をしました。</p> <p>取り掛かる前に、「梅干し」「梅の蜂蜜づけ」「梅ジャム」にすることを話すとそれだけで気持ちが盛り上がり「楽しみやね〜」「早くたべたい！」という声が早速聞かれました。</p> <p>1. 梅が傷つかないように手で優しく握り、爪楊枝でヘタを取りました。</p> <p>「こんな色なんやね」「いいにおい〜」「ふわふわで気持ちいいね」と梅干しになる前の梅の匂いや触った感触を味わいながら興味津々でした。保育士の「梅に傷をつけないようにしようね」の言葉を聞いて、宝物を触るような手つきで慎重に作業をする子どもたちでした。</p> <p>その後は、同量の梅と蜂蜜を瓶詰して蜂蜜付けの仕込みをしました。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">             梅干しできてるかな〜         </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>2. 茎と葉に分けた赤しそと塩をビニールに入れて、袋の上から手で揉むと出てきた紫色の汁を見て「うわあ〜、ブドウジュースみたい」「飲んでみたい」と驚いたり喜んだり。</p> </div> </div> <p>3. 蜂蜜梅のジュースを飲み、</p> <p>「すっぱいけど甘い」「甘いけどすっぱい」「梅干しと味がちがうねえ」とそれぞれの飲んだ後の感想が初めて口にするものならではの言葉だと思いました。</p> <p>「梅しごと」という日頃経験しないことを友だちと一緒にしたことは、子どもたちにとっても本当に貴重な体験だったと思います。保護者の方からも「今まで梅干しに興味を示さなかったけれど、『うめぼし、つくったんよ』『うめぼしある?』など話してくれるようになりました」という声が聞かれました。今は、「うめぼし、いつできるかな」「まだかなあ」と梅干しができあがるのを心待ちにしています。今後も様々な食材を通して食育に取り組んでいきたいと思っています。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">      </div>

【様式 1】

① 食育月間の取組

<p>提出都道府県名 政令指定都市名</p>	<p>北九州市</p>
<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>中原保育園</p>
<p>取組の名称</p>	<p>食品ロスなくそう</p>
<p>実施時期</p>	<p>6月5日、6月17日～6月22日、</p>
<p>取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)</p>	
<p>取組内容 目的『食品ロスをなくそう』 ① 6月5日 対象 全クラス (100名・保護者へ) ② 6月28日 対象 ぞうぐみ (21名)</p>	<p>①『食品ロス』を題材に食育だよりを全園児に配布しました。園だけでなく各家庭でも一緒に食品ロスについて取り組みやすいポイントとして「必要な分だけ買う」「食べきれぬ量を知る」「余った食材は別の料理に活用する」などをわかりやすく伝えました。送迎時に保護者より各家庭でもそれぞれ配慮して下さっている事も聞く事ができました。</p> <p>②6月17日～6月22日の1週間、毎日どれ位食べ残しがあるのか、残食を記録しました。子ども達に、残食の重さを体験してもらう為に、1番残食の多かった日と1番少なかった日の重さを粘土2kgの塊と400gの塊2種類を作り、実際に持ってもらいました。「おもたーい」などと感想を聞きながらその差を感じてもらいました。「これが中原保育園のみんなの残している給食の重さです。」と説明をし、2kgが食べ物でどの位なのかをわかりやすい様にご飯を20杯用意して見せ「これと同じ位の食べ物を毎日捨てている事になるんだよ」と伝え「もったいない」「まだ食べられるのに」と子ども達も、もったいない事、残食はしない方がいいという事に気付いたようでした。その後、紙芝居「ありがとうごはんつづマン」を見ると「好き嫌いな方がいい」と苦手な物でも少しずつ頑張ってみようという意識が芽生えてきたようです。しかし「どうしても苦手な物がある時や、食べられそうにない時はどうしたらいい？」と問いかけると、全部食べなくてはという意識が強かったのですが「最初に食べれる分だけに減らしてもらったらいいいね！そうすればピカピカのお皿に近づくんね！」と最後は一緒に考えることが出来ました。これからまた給食を作る人、野菜やお米を作る人などへの感謝の気持ちが芽生えるように、絵本や栽培活動などを通して働きかけをしていこうと思います。</p>



【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	さかい川保育園
取組の名称	もぐもぐ教室（咀嚼）
実施時期	R 6 年 6 月 2 4 日（月）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム （複数選択可）	 <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>
取組内容	<p>4～5歳（48名）を対象にもぐもぐ教室を実施しました。</p> <p>よく噛んで食べることの効果やカラダのつくりを知ること、適切なひと口量や危険な食べ物を知ること、ご飯を30回噛んで食べる体験を通して咀嚼の大切さを実感することをねらいとしました。</p> <p>《内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・噛むことのメリット</li> <li>・体の中を見てみよう（小腸の長さなど）</li> <li>・この食事はどんなうんち？</li> <li>・危険な食べ物</li> <li>・自分に合ったひと口量</li> <li>・食事マナー（姿勢・遊び食べをしない）</li> <li>・白米の向こう側を体験 （30回噛んで食べるとどんな味？）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>実施後は、姿勢を正して食べる姿や「沢山噛んで食べたらいいしかった」などの声も聞かれ、子ども自身が感じたことを実践しているようでした。</p> <p>今後も継続的に咀嚼を促す声掛けを行い、よく噛む習慣を身につけていってほしいと思います。</p>